



2025年1月10日発行

社会福祉法人 龍鳳ライフパートナーこぶし  
〒203-0004 東久留米市氷川台 2-31-19  
TEL:042-470-2385 FAX:042-470-2386  
清瀬事業所/ふわとん  
〒204-0013 清瀬市上清戸 1-15-18  
TEL&FAX:042-497-9481  
<https://www.fukushiryuhoh.or.jp/kobushi/>

ヤマザキ製パン様からいただいたクリスマスプレゼントのお礼状をみんなで作りました！



理事長 貝沼 寿夫

## 交換

あけましておめでとうございます。本年も、どうぞよろしくお願い申し上げます。ライフパートナーこぶしでは、利用者さんの権利擁護のために、担当課が趣向を凝らし様々な取組を行っています。虐待の芽を早期に摘んでいくために、実際に現場で起こる事例を基にして、職員でディスカッションを定期的に行っています。ただ単に、それが虐待に当たるのか否かを判断するだけではなく、より利用者さんにとっての権利が擁護されるには、どんな方法があるのかを議論しています。

昨年末の事例が、「交換条件による声掛け」でした。これは「こぶしのみならず他の事業所さんでも耳にすることがあります。「お手伝いしないと、おやつ無しよ」とか、「お仕事しないと、工賃でないよ」とか、私も経験がありますが、子育ての場面でも目にします。これらは、脅迫めいた発言で相手をおい通りに操ろうとする行為であり、子育てにおいても支援の現場においても、こうした交換条件は不適切だと捉えられます。

反面、「来週末には学生時代の仲間と忘年会があるので、それまで仕事終わらせなさい」とか、「来月には大好きなサザンのライブに行けるから、それまでこの繁忙期を頑張って乗り越えよう」とか考えたりします。これも自分に対する交換条件ですが、モチベーションアップの為、こうした言い回しをしています。そう考えますと交換条件が悪いのではなく、脅迫か動機付けか、何を目

的としているかが重要です。そしてその後の相手の行動の原動力となるのが恐怖からの回避ではなく、自らの意思による自発的な行動に繋げることが必要だと考えます。

さて、最近ラーメンも、一杯千円を超えるものが多くなっており、若干足が遠のいています。ラーメン一杯には、鳥や豚・小麦や葱など様々な材料が必要ですが、もし一人でそれらを手に入れようと思えば、一生掛かってもラーメンにありつけません。そう考えると、千円も安くはないのかもしれない。ラーメンに限らず全ての物は、自分ひとりの力で手に入れることは出来ず、見知らぬ誰かの絶え間ない努力のもとで出来たものとお金を交換しています。感謝と一言、気持ちをお金で表現しているとも考えられます。仕事という行為は、自分の時間を差し出しお金と交換しています。時間のみならず他の自ら持つ価値を交換し、感謝をたくさん集められる人ほど物心ともに豊かになるのかもしれない。因果応報、やったことが返ってくるとも言えます。すべては交換を通じた社会の中に、私たちはそれぞれ存在しているのではないのでしょうか。

ライフパートナーこぶしは、今年開所より二五年を迎えます。これも偏にご家族や地域の皆様のご支援ご協力の賜物でございます。改めて感謝申し上げます。こうした皆様から頂いたご恩に対し、その交換に私たちが何をお返しできるかをしっかり考え、恩返し的一年としていきたいと思っております。

写真についてはご本人（代理人又は成年後見人）の同意を得て掲載しております。

## 新商品☆トマトソースのハンバーガー

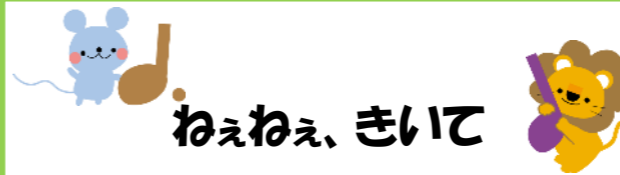
ふわとんではお客様が飽きることのないように、毎シーズン利用者さんと一緒に様々なメニューを考案しています。

今シーズンは、みんな大好き「トマトソースのハンバーガー」が新登場！

ふわとん自家製ふくらパンズに、ジューシーなハンバーグを挟みました。コクのあつトマトソースが相性ピッタリです。



おかげさまでご好評を頂いております。外部販売ではいつも販売開始と同時に売り切れてしまうほどです！



## ねえねえ、きいて

生活支援員 花岡 穂香

最近、一緒に歌うのがブームのAさん「トンボ」「お正月」「カエル」などの単語を聞くと「せーの！」と歌い出しをサポートしてくれます！手拍子もバッチリです！Aさんと、もっとたくさん歌えるよう童謡のレパートリーを増やします♪



## キラリ☆と光るこの一枚



デリバリーで美味しい物たくさん食べました！！  
(前川 慈弦)

## 働くという事

私が初めて働いたのは高校生の時でした。カフェでの初仕事にドキドキしながらも働く事が楽しくてたまらなかつた事を思い出します。ホールではお水を提供するという、今では簡単に出来る仕事にも当時は緊張し、手が震えていた事を今でも鮮明に覚えています。

今現在カフェで支援の仕事に就き、初めてホールに立つ利用者さん達を見ていると、あの頃の私と重なる時があります。緊張しながらお客様の前に立ち、会話をしなければならない。これは私達の想像を遥かに超える緊張ではないかと思えます。その緊張を取ってあげる事は出来ませんが、何度も経験して慣れてもらっています。

同じ事を繰り返すという事は自身の経験値となり、大きな自信に繋がります。イチローさんの名言で「大きな夢の現実も小さな事の積み重ね」とあります。

少しずつ出来る事を増やし、いつか利用者さん達の思い描いた仕事出来るよう、全力でサポートし続けたいと思っています。

生活支援員 中村 恵美子



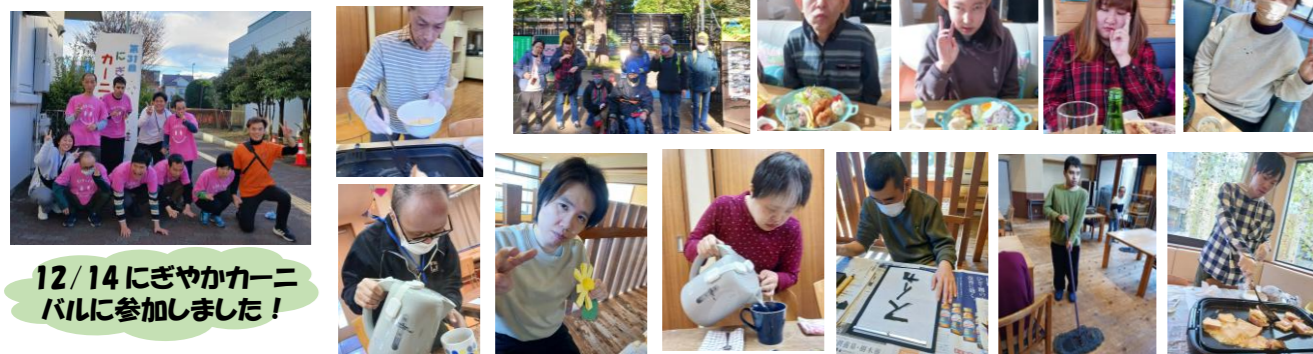
# フォトニュース ～12月の様子～

かたち

## ☆プチ旅行に行きました☆



## ☆活動・余暇風景☆



新しい年が始まり、昨年の反省をもとに今年の抱負を考える今日この頃です。明けましておめでとうございます。

さて、新年の始まりと言えば年賀状。子供の頃、郵便屋さんが配達してくれる年賀状が楽しみでした。友達や学校の先生からのメッセージが入った年賀状を読んでニコニコしていたのを覚えています。しかし、近年は年賀状を貰うのも出すのも少なくなり、携帯電話で新年の挨拶を済ませてしまっています。考えてみると少し寂しい気もしますが、すぐに返事が出来てしまう携帯電話での挨拶を便利だと感じています。良くも悪くもネットの普及で、より簡単に人と人が繋がれるようになったと感じています。

私は、1年以上やっている携帯ゲームがあります。そこには、様々な国の様々な年代の人がいます。そんな多種多様な人たちと、ゲームの中でコミュニケーションを取りながらミッションをクリアしています。ゲームでしか会話してない人ですが、“フレンド”と呼んでまるで友達かのようにいろいろな話しをしているのです。今では実際に会う友達よりもゲームの中だけの友達の方が多いのではないかと考えています。なかには、ゲームで出会って実際に会う人たちもいるようなので、これも一つの出会いの形なのかな？と思っています。

なにが言いたいのかというと便利な世の中になることで、様々なやり方や形が増えているということです。それをどのように活用していかで、生活の豊かさが変わっていくように思います。新しい物や手段は抵抗感が強いですが、取り入れて初めて感じる事が出来ることも多くあります。これは、勇気を出して挑戦してみないと知ることが出来ないことです。また、経験しないと新旧どちらの方が自分に合っているのかもわかりません。

利用者の方々にも多くの経験や様々な形を知って、一人一人に合った生活が出来るように、職員は新しい手段や道具を使って、利用者の方々の生活が豊かになるように支援をしていきたいと思っています。

フロア支援部・研修研究部部長補佐 高野 竜

## こぶし医務通信 No.7

### 「ヒートショック」に気をつけましょう！！

ニュース等で耳にする事が多くなってきましたね。特に気をつけたいのは「入浴時」です。快適な入浴をするためには、何に気をつければ良いでしょうか？

- ① 浴室・脱衣所は、事前に温めましょう。
- ② 湯温は「41℃以下」、浸かる時間は「10～15分」(熱いお湯は要注意！)
- ③ 「かけ湯」をしてから入りましょう。
- ④ 入浴前後は、水分を取りましょう。

看護師 新井 朋子

## 地域活動かわら版

### ～お花の植え替え～

氷川台自治会で行っている、花壇のお花植え替え作業に参加しました！



お花を1つ1つ丁寧にプランターへ植え込んでいきました。氷川台通り沿いで綺麗に咲いていますので、ぜひご覧ください！



## こぶしのボランティア担当をしています

表題の通り、こぶしのボランティア担当をさせてもらっています。コロナ禍を経て、近頃はお祭りが現地で開催になったり、こぶし祭りが開かれた祭りになったりと、ボランティアさんの需要が高まっています。

こぶしに昔から来て頂いていたボランティアさんは、コロナ禍の時に随分減ってしまい、ボランティア募集をするのがかなり困難を極めていました。しかし今年は、夕涼み会に10名ほどのボランティアを呼ぶことができました。これは人の縁が大きくて、実習校の先生から紹介していただいたり、実習生が来てくれたりと、こぶしの関係者さんが呼んでくれたりしてもらったお陰です。そして今年は、日中活動に入ってくださいボランティアさんが、新たに2名加わってくださいました。新規ボランティア獲得を目標に掲げていたので、嬉しい限りです。

この繋がりを大切に、そして失わないように今後もボランティア担当として活動していきたいと思っています。

生活支援員 佐藤 里胡